

災害避難所での遊びを再現

令和5年12月17日(日)

入場無料

11:00~15:00

10:30開場

大野原農業者トレーニングセンター (大野原小)

香川県観音寺市大野原町大野原 1905 番地

主催 香川県教育文化研究所 共催

鳴門教育大学 (株)ヴィットハート
(株)おもちゃ王国との産学共同研究

災害の多い日本において、災害発生後の「子どもへの対応」では多くの課題があります。今、鳴門教育大学では、避難所研究 (災害避難所における子どもの対応) を行っており、今回、香川県観音寺市で、その研究成果を公開いたします。

これは、実際の災害避難所において、どのような遊びならば子どもがストレスを感じず、またどのような玩具ならば適切に遊べるかについて公開するものです。平素の遊びに使える玩具もあり、是非ご来場いただき、本学が研究開発した玩具等でお子様たちは自由に遊んで下さい。(入場無料)

避難所に適した玩具 (海外の玩具)、避難所での掲示など、学生の研究成果も公開しています。
資料も無料で配布いたします。

災害発生後に問題になるのが、被災後の子どもの対応です。これまでの避難所において、「子どもが騒ぐ・子どもが泣く」、「ストレスを抱えている子どもがいる。」という報告があり、心のケアが必要であると指摘されています。



大学内でのデモ会場の様子 (2023)

復旧・復興の際、子どもの面倒を誰がみるのかという問題が発生します。しかし、子どもに目を向ける余裕がなくなってしまうのです。子どもの居場所問題の発生。





居場所のなくなった避難所で、何らかの遊びで発散させることは、有効な手段となります。しかし、音の問題や場の確保など困難な状況になってしまうことは、ウクライナ情勢、トルコ大地震でもその対応に苦慮していることが報告されています。

ぜひ、一度ご来場下さい！

見て、触って、体験しておくことが、大切です！

日時：令和5年12月17日11:00～15:00

(10:30開場)

**会場：大野原農業者トレーニングセンター
(観音寺市立大野原小学校体育館)**

香川県観音寺市大野原町大野原1905番地



参加申し込み方法

右のQRコードを読み取り、

1 所属校

2 名前

を記入して送信して下さい。



申込用 QR コード